

生活に直結、政治を実現

vol.7

石田のりとしTIMES

衆議院議員 石田祝稔 活動情報

[発行]

公明党衆議院比例区四国第1総支部
〒780-8010 高知市棧橋通1丁目7-2 中村ビル2F
TEL 088-805-0607 FAX 088-805-0608

石田祝稔ホームページ

<http://www.ishida21.gr.jp>

石田祝稔 facebook

<http://www.facebook.com/noritoshi.ishida.5>

公明31議席の大勝利

四国一議席を死守



激戦を勝ち抜いて1議席を死守した四国比例ブロックの石田祝稔衆院議員と、喜びを爆発させる支持者ら=12月16日 高知市

12月16日に投票された第46回衆議院総選挙で、公明党は公認候補を擁立した9小選挙区で完全勝利、比例区では全国11ブロックで22人が当選し、計31議席を獲得した。「政党乱立」の大混戦の中、選挙前の21議席から10議席伸ばす大勝利となった。衆院が現行の選挙制度となったから、公明党が挑んだ小選挙区で完勝

したのは初めて。比例区は北関東、中国の両ブロックで議席増。全国11ブロックを合わせた得票率は11・83%で、前回選挙の11・45%を上回った。小選挙区で公明党は、党として初めて挑戦した北海道10区で、稲津久氏が現職閣僚を破り見事に当選を果たした。また、前回選挙で敗北した8小選挙区の全てで雪辱。太田昭宏（東京12区）、上田勇（神奈川6区）、北側一雄（大阪16区）、赤羽一嘉（兵庫2区）の4氏が返り咲いたほか、前回比例区で当選した佐藤茂樹氏（大阪3区）、新人の国重徹（大阪5区）、伊佐新一（大阪6区）、中野洋昌（兵庫8区）の3氏が激戦を突破した。

海2、近畿4、中国2、四国1（石田祝稔）、九州・沖縄3。合計22議席として、前回から1議席増を果たした。特に、北関東では2003年衆院選以来の3議席を獲得し、岡本三成、奥水恵一の新人2氏が当選。中国でも前回失った2議席目を奪還し、榎屋敬悟氏が国政復帰を果たした。さらに、新人の佐藤英道（北海道）、浮島智子（近畿）、樋口尚也（同）、濱村進（同）、はまち雅一（九州・沖縄）の各氏が当選を飾り、元職の伊藤渉氏（東海）も当選した。

戦後最低の投票率となる中で、公明党の比例区全国11ブロックの総得票数は71万票（前回805万票）。近畿、九州・沖縄の両ブロックでは民主党の得票数を上回った。各ブロックの獲得議席は、北海道1、東北1、北関東3、東京都2、南関東2、北陸信越1、東

今回の衆院選は、民主党政権への審判が最大の争点であったが、同党は選挙前の230議席から57議席へ大きく後退。現職閣僚や閣僚経験者が相次いで落選するなど、失政続きだった同政権は有権者から事実上の不信任を突き付けられ、退場することになった。

大部分の小選挙区で公明党と選挙協力した自民党は、過半数を上回る294議席を獲得し、政権奪還を果たした。

第三極。政党では、日本維新の会が54議席、みんなの党が18議席。一方、日本未来の党は選挙前の62議席から9議席に勢力を大きく減らした。共産は1議席減の8議席、社民は3議席減の2議席となった。

第46回衆議院総選挙 結果

| 四国比例区 | 得票数 | 得票率 |
|-------|---------|-------|
| 徳島 | 58,447 | 16.02 |
| 香川 | 60,280 | 12.83 |
| 愛媛 | 93,061 | 13.50 |
| 高知 | 65,119 | 19.95 |
| 四国 B | 276,907 | 14.97 |

| 都道府県別 投票率 | | |
|-----------|--------|--------|
| 都道府県名 | 小選挙区 | 比例区 |
| 北海道 B | 58.73% | 58.72% |
| 青森 | 54.20% | 54.17% |
| 岩手 | 61.68% | 61.67% |
| 宮城 | 55.24% | 55.23% |
| 秋田 | 63.22% | 63.22% |
| 山形 | 64.86% | 64.83% |
| 福島 | 58.86% | 58.85% |
| 東北 B | — | 58.92% |
| 茨城 | 58.85% | 58.84% |
| 栃木 | 54.71% | 54.72% |
| 群馬 | 57.33% | 57.33% |
| 埼玉 | 57.40% | 57.40% |
| 北関東 B | — | 57.32% |
| 東京都 B | 62.20% | 62.20% |
| 千葉 | 58.49% | 58.48% |
| 神奈川 | 59.87% | 59.86% |
| 山梨 | 63.67% | 63.67% |
| 南関東 B | — | 59.53% |
| 新潟 | 59.66% | 59.66% |
| 富山 | 56.89% | 56.88% |
| 石川 | 61.92% | 61.91% |
| 福井 | 61.75% | 61.74% |
| 長野 | 63.36% | 63.36% |
| 北陸信越 B | — | 60.86% |
| 岐阜 | 62.04% | 62.04% |
| 静岡 | 61.75% | 61.74% |
| 愛知 | 59.07% | 59.07% |
| 三重 | 61.29% | 61.28% |
| 東海 B | — | 60.43% |
| 滋賀 | 61.76% | 61.74% |
| 京都 | 58.27% | 58.25% |
| 大阪 | 58.37% | 58.37% |
| 兵庫 | 58.59% | 58.58% |
| 奈良 | 63.14% | 63.14% |
| 和歌山 | 61.37% | 61.37% |
| 近畿 B | — | 59.11% |
| 鳥取 | 62.92% | 62.91% |
| 島根 | 65.74% | 65.74% |
| 岡山 | 55.27% | 55.27% |
| 広島 | 56.76% | 56.76% |
| 山口 | 60.04% | 60.02% |
| 中国 B | — | 58.35% |
| 徳島 | 57.83% | 57.80% |
| 香川 | 59.04% | 59.03% |
| 愛媛 | 59.56% | 59.55% |
| 高知 | 53.89% | 53.88% |
| 四国 B | — | 57.99% |
| 福岡 | 57.34% | 57.33% |
| 佐賀 | 61.86% | 61.86% |
| 長崎 | 60.11% | 60.10% |
| 熊本 | 58.53% | 58.52% |
| 大分 | 62.17% | 62.15% |
| 宮崎 | 55.69% | 55.68% |
| 鹿児島 | 56.79% | 56.79% |
| 沖縄 | 56.02% | 55.94% |
| 九州・沖縄 B | — | 58.10% |
| 全国平均 | 59.32% | 59.31% |

| ブロック | 比例区 政党別・ブロック別 当選者数 | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
| | 公明 | 自民 | 民主 | 維新 | みんな | 未来 | 共産 | 社民 | 大地 | 国民 | 改革 | 計 |
| 北海道 | 1 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | — | — | 8 |
| 東北 | 1 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | — | — | 0 | 14 |
| 北関東 | 3 | 6 | 3 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | — | — | — | 20 |
| 東京都 | 2 | 5 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | — | — | 0 | 17 |
| 南関東 | 2 | 6 | 4 | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | — | — | — | 22 |
| 北陸・信越 | 1 | 4 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | 11 |
| 東海 | 2 | 7 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | — | — | — | 21 |
| 近畿 | 4 | 7 | 3 | 10 | 2 | 1 | 2 | 0 | — | — | — | 29 |
| 中国 | 2 | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | 11 |
| 四国 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — | 6 |
| 九州・沖縄 | 3 | 7 | 3 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | — | 0 | — | 21 |
| 計 | 22 | 57 | 30 | 40 | 14 | 7 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 180 |

| 2012年衆院選 当派別当選者数 | | | | | | | | | | |
|------------------|------|-----|-----|----|----|------|----|----|----|-------|
| 合計 | 小選挙区 | | | | | 比例代表 | | | | 公示前勢力 |
| | 前 | 元 | 新 | 前 | 元 | 新 | 前 | 元 | 新 | |
| 公明 | 31 | 9 | 2 | 4 | 3 | 22 | 13 | 2 | 7 | 21 |
| 自民 | 294 | 237 | 100 | 60 | 77 | 57 | 5 | 10 | 42 | 118 |
| 民主 | 57 | 27 | 26 | 0 | 1 | 30 | 30 | 0 | 0 | 230 |
| 維新 | 54 | 14 | 4 | 0 | 10 | 40 | 5 | 6 | 29 | 11 |
| みんな | 18 | 4 | 4 | 0 | 0 | 14 | 2 | 0 | 12 | 8 |
| 未来 | 9 | 2 | 2 | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 62 |
| 共産 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 | 0 | 9 |
| 社民 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| 大地 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| 国民 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 日本 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 無所属 | 5 | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 計 | 480 | 300 | 142 | 65 | 93 | 180 | 71 | 18 | 91 | 479 |

※公示前欠員 1

石田衆院議員、現場の声に全力で



高知市内の高須病院を訪れ、透析施設を視察。関係者から要望を受ける石田衆院議員（左端）=8月18日



安芸市の竜巻被害で現地を視察する石田衆院議員（右端）=8月16日



高知市内で高知県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会の意見交換会に参加。現場関係者から要望を受ける石田衆院議員（右端奥）=8月14日



香川こどもの命を守る会の代表者から要望を受ける石田衆院議員（左端）=10月7日



明神須崎市副市長より南海地震対策要望を受る石田衆院議員（左端）=10月6日



多度津町ため池を視察する石田衆院議員（右端）=9月10日

プロフィール

石田 祝稔 いしだ のりとし

生年月日 昭和 26 年 9 月 1 日

家族構成 妻と一男二女

昭和26年 高知県高知市生まれ
高知市立旭小学校、西部中学校卒業

昭和45年 高知県立高知追手前高等学校卒業

昭和53年 創価大学大学院修士課程修了

昭和54年 東京都職員となり福祉の現場で働く

平成 2年 衆議院議員 初当選
平成5年、15年、17年、21年、24年
衆議院議員当選 現在6期

<国会・政府役職>
経済産業委員長 大蔵政務次官
厚生労働副大臣
農林水産副大臣を歴任

<所属委員会>
予算委員会理事
農林水産委員会理事
災害対策特別委員会理事
東日本大震災復興特別委員会

<公明党役職>
中央幹事 四国方面議長
組織委員長
政務調査会副会長 農林水産部会長
東日本大震災復興対策本部事務局長

東京事務所 〒100-8982
東京都千代田区永田町 2-1-2
衆議院第2議員会館 1024号
TEL 03-3508-7472 FAX 03-3508-3352



土佐市にて街頭演説

10.8
土佐市



高松市にて街頭演説

10.14
高松市



高知市の目黒市にて街頭演説

10.28
高知市



四国各地で 街頭演説



四国中央市にて終戦記念日街頭演説

8.12
四国中央市
愛媛



牟岐町にて街頭演説

9.15
牟岐町
徳島

山本ひろし参院議員(2013年参院選)と新春対談

比例区予定候補



「これからの四国」をテーマに語り合う(右から)山本参院議員、石田衆院議員

の一議席を守らせて頂きました。山本さんにも大変ご支援を頂きました。

山本 本当に大勝利おめでとうございます。総選挙の結果、公明党も政権与党に復帰しました。

石田 私は主に四国を中心に活動しています。山本さんは四国、中国を中心に活動されています。山本さんは本年の7月で一期目が終わりますが、常に心掛けてきたことを聞かせて下さい。

山本 とにかく現場に行き、生の声に耳を傾けることに徹してきました。障がい者や介護の施設等を中心に初当選以来約1500件訪問しました。又、全国75の島々も訪れ、切実な声も聞かせて頂きました。

石田 それはすごいことですね。真実の声は現場にあり、ですね。その声を基にして国会での質問も数多くなっていますね。

山本 はい。現場の声を基にした国会質問は118回に上ります。私の質問を契機に、全国で「ひきこもり地域支援センター」の整備が進んでいます。香川、愛媛の家族会との懇談で現状を

聞き、国会で取り上げました。

石田 公明党は明年で結党50周年になります。一貫して地域の声を聞き、それを政治に反映させてきました。これは公明党の原点であり、伝統です。未来永劫変えてはならない、と思います。その他、特に力を入れてきたことはどんな点ですか。

山本 力を入れてきたのは、障がい者を支える法の整備です。障がい程度区分の見直し、グループホームへの居住費助成などの推進です。又、障がい者就労施設からの製品購入を国等に促す「障害者優先調達推進法」は、関係者から大変喜ばれています。

石田 私は、都の職員時代、養護学校で事務を執っておりました。その時、政治の光をこそ苦しんでいる人達に届けなければ、との思いを抱き、それが私の政治活動の原点になっています。山本さんにとって今年是一段と重要な一年になると思いますが、四国の課題等も踏まえ今後の決意を聞かせて下さい。

山本 6年前の初挑戦の時には、皆様の献身的なご支援で、無名の私を国会に送り出して頂きました。報恩感謝の

思いで今日まで頑張つて参りました。四国各県様々な課題があります。地元の皆様と連携して課題解決に取り組みます。特に「南海トラフ巨大地震」対策は喫緊の課題です。全力で取り組みます。

また、難病問題、教育の再建にも力を入れたいと思っています。ともかく今年の政治決戦に断固勝利し、結党50周年を飾ってまいります。

石田・山本 本年も全力で頑張つてまいります。

●山本ひろし参院議員

【略歴】党参院副幹事長、同四国副議長、同離島振興対策本部事務局長、慶応義塾大学法学部卒。八幡浜市出身。参院議員1期。58歳。



山本ひろし参院議員(右)と本年の健闘を誓い合う